

第6次大桑村総合計画策定に向けた地区懇談会

結果報告

本村では、令和6年度を初年度とする第6次大桑村総合計画の策定を進めています。これは、大桑村の今後10年間のあるべき姿（基本構想）を描くとともに、それに向けた前期5年間（令和6～10年）の基本計画を策定するものです。

住民のみなさんの思いや意見を広く取り入れた計画とするため、下記のとおり地区懇談会を開催しました。

開催日時・場所

1日目（中部地区）7月25日（火） 役場 1F 多目的ホール

2日目（野尻地区）7月26日（水） 野尻地区館 ホール

3日目（須原地区）7月27日（木） 須原地区館 ホール

*時間はいずれも午後7時開始～最大午後9時終了。

*3地区とも内容は同じ（大桑村がこうあったらいいなど普段考えていること、今の
大桑村について思うこと等）。

*座談会方式で実施。

本資料では、3地区ごとに出た意見を総合計画の6つの分野に分けて整理しました。

第5次総合計画における基本目標

目標1	健やかな笑顔あふれるやさしいむらづくり
目標2	花と緑に包まれた美しく安全なむらづくり
目標3	快適で住みやすいむらづくり
目標4	豊かで活力あふれるむらづくり
目標5	人と文化が輝き歴史が息づくむらづくり
目標6	連携と協働で築く自立のむらづくり

【目標1 健やかな笑顔あふれるやさしいむらづくり】

- 人口減少対策は喫緊の課題である。
- 子どもたちの笑顔が減っている。高齢者には力を入れているが、若者には力を入れていないのではないか。
- 村に移住した子育てしている若い親の人たちが、ちょっとしたことでも相談や手伝いを頼めるサービスがあったら良い。

【目標2 花と緑に包まれた美しく安全なむらづくり】

- 大桑村には荒廃した自然はあるが、豊かな自然はない。
- 大桑村にはたくさんの山があるが、産業・防災対策等、どのように利用していくかが今後の課題。
- 村には木がたくさん茂っていて美しいが、将来、誰がこれを手入れしていくのか。不安がある。
- 中山道は村の魅力ある観光資源のひとつであり、道路工事などする場合は、景観に配慮してほしい。

【目標3 快適で住みやすいむらづくり】

- 地域交通について、運転手が高齢化している。安全面等から考えて担い手（若い方）の確保の必要性がある。
- 土地利用について、木は伸び放題、土地は荒れ放題であり、対策が必要ではないか。
- 道路の舗装も良いが、歩道の整備をして人が歩きやすいようにしてほしい。
- バスに乗車する人は少ない。バスじゃなくて、もうちょっと小回り（運行回数の多い）のきく交通手段があっても良いのではないか。

【目標4 豊かで活力あふれるむらづくり】

- 鳥獣害について、猿などが出没する時がある。農業等に影響があるので、対策が必要。
- 農業をやる人もだんだん少なくなっている現実がある。将来を見据えて対策を。

【目標5 人と文化が輝き歴史が息づくむらづくり】

- 図書館について、子どもが勉強しやすいよう、談話室以外の場所も使わせて頂けるとありがたい。

【目標6 連携と協働で築く自立のむらづくり】

- 6次総合計画に向けて、財政の健全化に向けたさらなる取組の必要性。
- 議会は高齢者ばかり。若者の力が必要。
- より住みやすい村にするため、みんなで何か考えながら、本当に子どもも村に戻って来られるようなことを考えながら計画をつくってほしい。
- むらづくりについて、村の職員だけにまかせず、住民もやらなきゃいけない。意識がないのではないか。啓発が必要。

2日目（野尻地区）7月26日（水）野尻地区館 ホール

【目標1 健やかな笑顔あふれるやさしいむらづくり】

- 人口がこれから減っていくのは世の流れであり、仕方のない部分もある。人口が減った先の大桑村を見据えて計画をつくってほしい。
- 高齢化が進んでおり、独居老人への対策が必要ではないか。
- 子育て支援と少子化対策は全然違う。どちらかにターゲットをしぼったほうが良いのではないか。

【目標2 花と緑に包まれた美しく安全なむらづくり】

- 新しい時代の流れである、SDGsの目標も計画に反映されるのか。
- 村に住みたいと思う大きな要因の一つとして景観があると思う。草刈り、ゴミ拾い、から次のステップの景観保全を考えてほしい。

【目標3 快適で住みやすいむらづくり】

- 移住者の受入れの受け皿を拡大するという内容が、空き家対策くらいのもので他にない。
- 移住の項目というのをもう少しウェイトを上げたほうが、今後、人口がどんどん減っていくというところに対しての対策がとれるのではないか。
- 役場の方が本当に一生懸命になっているいろんなことをされているのは、外にいるとわからない。情報発信の点で弱いような気がする。

【目標4 豊かで活力あふれるむらづくり】

- 産業に力を入れるのか、共生社会に力を入れるのか、など村はどこに力を入れているのかもう少し分かってほしいのかと思う。
- 人口が減っていて、労働世代の20代・30代・40代あたりの人口が少ないというのが村の

問題点。

○観光のPRについて、誰に向けて何を発信するのかというところが曖昧。

【目標5 人と文化が輝き歴史が息づくむらづくり】

特になし。

【目標6 連携と協働で築く自立のむらづくり】

○野尻の野尻宿など、地区の特徴を計画づくりに反映してほしい。

○地域交流のコミュニティの場をもっと増やしてほしい。

○どこの地区も同じだが、地区役員のなり手がいないというのが課題。

○広域連携の視点で住民サービスの充実を（共通商品券等）。

3日目（須原地区）7月27日（木） 須原地区館 ホール

【目標1 健やかな笑顔あふれるやさしいむらづくり】

○新たな総合計画をつくっても、それを成し遂げるにはやはり人口が必要である。人口をもっと増やせるようなことを考えてほしい。

○高齢者に対してのこれからの受入れ態勢を考えてほしい。ショートステイとまでいなくても、グループホームみたいなものはやっぱり必要になってくるのではないか。

○若い方達にどんどん来てほしいし、大事にしていかなければいけないと思うが、ここに住んできたお年寄りの方たちも大事にしていきたい。

【目標2 花と緑に包まれた美しく安全なむらづくり】

○村の景観形成のために、村のさわら材を活用した取組を是非実施してほしい。

【目標3 快適で住みやすいむらづくり】

○空き家を活用してほしい（独居老人のための集まりの場等）。

【目標4 豊かで活力あふれるむらづくり】

○今後、10年間の先のことを考えてやはり人口を少しでも増やそうかという考えの1つとして、工場・企業誘致等の考えは村としてあるのか。

○他の自治体では地場産業と結び付けてふるさと納税制度を活用している。ぜひ村でも地場

産業の発展のためにもふるさと納税制度に参加してほしい。

- 観光について、村を知ってもらう、みんなに紹介する、ということが大事なので、観光ガイドの研修等の取組をさらに進めていってほしい。
- 村の農業について、農家・生産者がやる仕事を側面から支えてほしい（補助金等）。農家・生産者の意見を汲み取って施策に反映してほしい。

【目標5 人と文化が輝き歴史が息づくむらづくり】

- 生涯スポーツについて、社会体育、特に総合型地域スポーツクラブの取組をぜひ入れてほしい。
- 人に住んでいただく、それも若い人・若い世代の方が良いわけだが、そのための施策として、子育て支援、特に「教育の質の向上」が重要ではないか。
- 村では独自に教員を確保しているなど、教育に力を入れていると思う。もっとこのことを外に発信して、こんなに住みやすいんだよ、というのを情報発信してほしい。

【目標6 連携と協働で築く自立のむらづくり】

- 役場について、職員の横のつながりがなく、縦割りで、みんなで物事・役割を共有していない。